

防除情報

平成17年8月18日
長崎県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察 防除情報第12号

いちご 輪斑病の防除対策について

いちごの輪斑病の発生が多くなっています。下記の点に留意して適切な防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

- 1) 8月上旬の巡回調査(33筆)の結果、発病株率が15.2%(平年1.0%)、発生圃場率が55%(平年10%)で、7月前半以降増加している(図1, 図2)。
- 2) 病害虫防除員などの調査によると、発生がおさまった地域も見られるが、依然として多発している圃場も一部見られる。

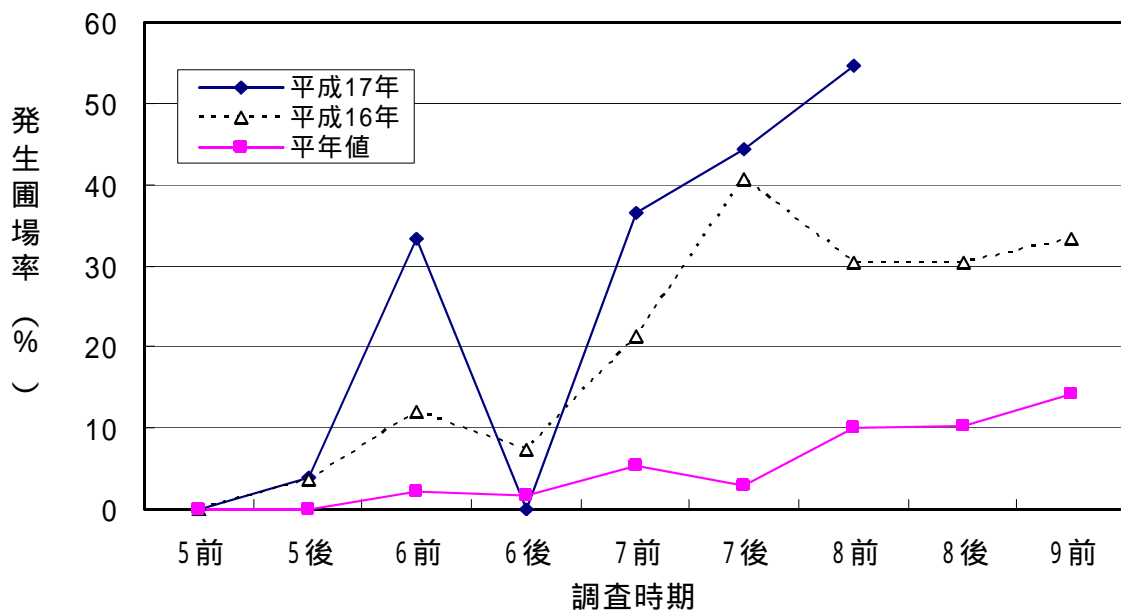


図1 イチゴ輪斑病の発生圃場率の推移(巡回調査)

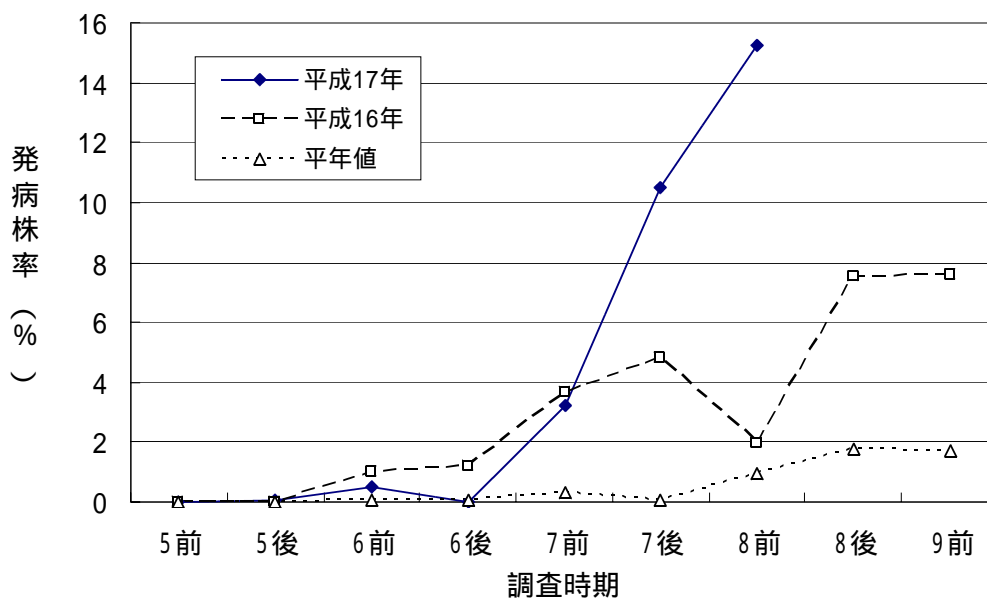


図2 イチゴ輪斑病の発病株率の発生推移(巡回調査)

2. 防除対策

- 1) 被害葉は伝染源となるため栽培上支障のない範囲で除去する。
- 2) 発生程度がひどい圃場では薬剤散布する。薬剤はバイコラール水和剤(使用濃度2,500倍、使用時期:育苗期、使用回数3回)を用いる。
- 3) 除去した被害葉は圃場周辺に放置しない。
- 4) 肥料不足は発病を助長するので注意する。
- 5) 過湿条件も発病を助長するので、圃場の排水対策を確実にいき、密植栽培しない。